

令和6年度 事業計画書

事業局課	道路局	維持課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1	
歳出予算科目	一般会計	13 款	1 項	3 目	政策番号	38 施策番号	1
事業名称	道路修繕事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	9,999,226	10,000	0	4,744,267	1,500,000	3,744,959
令和5年度	9,890,073	10,000	0	4,744,263	1,500,000	3,635,810
増▲減	109,153	0	0	4	0	109,149

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	10,468,344	10,782,299	10,999,226	10,999,226	10,999,226
	市債＋一般財源	5,723,444	6,055,649	6,244,959	6,244,959	6,244,959
決算	事業費	10,152,252	10,649,003			
	市債＋一般財源	5,395,773	5,895,075			

事業概要 (アクティビティ)	昭和27年に制定された道路法の第42条に記載されている『道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。』という理念をもとに市管理道路の維持管理を行います。						
-------------------	---	--	--	--	--	--	--

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
舗装実施面積	単位	目標	712,570	703,446	540,583	503,125	559,028	559,028	559,028
	m ²	実績	681,606	702,905					
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
YMI：横浜市の舗装評価指標	単位	目標	7.58	7.58	7.58	7.58	7.58	7.58	7.58
		実績	7.53	7.45					

事業目的	<p>【事業目的・必要性】 市管理道路のうち幹線道路では路面性状調査を行い、わだち掘れ・縦断方向の変形など損傷が著しくなっている路面の修繕工事を計画的に実施し、生活道路ではひび割れなどの老朽化が進んでいる路面の修繕工事を実施します。また、住民からの補修要望についても、順次対応する必要があると、生活の基盤をなす道路の維持管理に努めます。</p> <p>【効果】 ・幹線道路⇒路面性状調査実施により道路損傷路面の計画的な修繕工事及び住民からの補修要望についても対応 ・生活道路⇒老朽化が進んでいる路面の修繕工事及び住民からの補修要望についても対応</p> <p>上記により毎年度着実な道路の維持管理を実施しており、市民の安全・経済活動に貢献しています。</p>
------	---

背景・課題	道路は日常生活や生産活動を支える基礎的な資産であり、交通の用に供するという本来の目的を果たすために、常に良好な状態に維持管理されなければならない。
-------	---

根拠法令・方針決裁等	道路法 道路構造令
------------	-----------

根拠・データ等	別紙のとおり
---------	--------

事業スケジュール	<p>年度毎のスケジュールはありません。 (参考：年度スケジュール) 4月：当年度予算配付 5月：前年度決算 7月：土木事務所ヒアリング(執行状況確認・次年度要望) 7月～8月：次年度予算検討 9月：次年度事業計画 11月：執行状況確認 3月：決算見込調査</p>
----------	--

事業開始年度	
--------	--

(単位：千円)

細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
細事業(事業内訳)	1 道路修繕事業 単独事業	9,979,226	9,870,073	109,153	資材費・労務費上昇による
	2 道路修繕事業 補助事業	20,000	20,000	0	
細事業合計		9,999,226	9,890,073	109,153	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 本橋 康武	係長 橋本 健太郎	小川名 明代
------------------------------------	-------------	--------------	--------

【実績及び今後見込み】

【事業費の内訳】

年 度	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
工 種	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
工 事 請 負 費	9,191,923	9,706,467	8,951,341	9,006,210
車 道 整 備	7,925,627	8,499,953	7,671,633	7,768,927
アスファルト/コンクリート舗装	5,568,431	5,582,099	4,989,237	5,175,083
アスファルト被覆	2,357,196	2,917,854	2,682,396	2,593,844
歩 道 整 備	344,392	348,981	408,783	394,418
路 肩 整 備	423,737	287,565	330,934	338,091
小規模補修整備	35,135	46,550	66,378	55,284
その他・雑工	463,032	523,418	473,613	449,490
委 託 料	748,919	719,164	688,000	742,000
委託料	747,440	718,438	685,400	686,000
土木防災情報システム (R6はシステム改修含む)	1,479	726	2,600	56,000
原 材 料 費	159,004	163,586	159,000	159,000
事 務 費	52,406	59,786	91,732	92,016
合 計	10,152,252	10,649,003	9,890,073	9,999,226

令和6年度 事業計画書

事業局課	道路局	維持課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	2					
歳出予算科目	一般会計	13	款	1	項	3	目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	私道対策事業										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	55,000	0	0	0	0	55,000
令和5年度	50,000	0	0	0	0	50,000
増▲減	5,000	0	0	0	0	5,000

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	50,000	50,000	55,000	55,000	55,000
	市債＋一般財源	50,000	50,000	55,000	55,000	55,000
決算	事業費	66,538	94,313			
	市債＋一般財源	66,538	94,313			

事業概要 (アクティビティ)	私道対策事業とは、私道整備助成と私道整備の二つの事業から成り、不特定多数の市民の通行の用に供され、公道と同等な機能を果たしている私道の整備を実施し、生活環境の向上に寄与することを目的とします。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
私道整備助成・私道整備件数	単位	目標	14	14	12	12	12	12
	件	実績	17	22				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
私道整備助成・私道整備面積	単位	目標	2,230	2,230	1,836	1,861	1,861	1,861
	m ²	実績	3,330	4,722				
事業目的	<p>[私道整備助成] 多数の市民の通行の用に供され、公道と同様な機能を果たしている私道の整備を実施して、市民の申請に基づき、舗装新設工事及び補修工事に対し、その工事費用の10分の9の助成を行い、地域住民の生活環境の向上に寄与します。</p> <p>[私道整備] 不特定多数の市民の通行の用に供され、公道と同様な機能を果たしている主要な私道について、市民の申請に基づき、全額市費でその私道の整備を行い、地域住民の生活環境の向上に寄与します。 主要な私道とは以下のとおりです。 ①公共的な施設等から半径500m以内の私道、または新たに通学路と指定された私道で幅員2.7m以上のもの ②両端が公道に接続していること</p>							
背景・課題	私道については所有者による維持管理が基本ですが、不特定多数の市民が使用する私道においては、本事業を実施することで周辺住民の生活環境が向上していることから、財政状況が厳しい中でも引き続き推進していく必要があります。							
根拠法令・方針決裁等	私道整備の助成に関する要綱、私道整備実施要領							
根拠・データ等	別紙のとおり							
事業スケジュール	年度毎の事業スケジュールはありません。 (参考：年度スケジュール) 4月： 当年度予算配付 5月： 前年度決算報告 8月： 次年度事業計画 毎月： 各区案件状況確認・予算措置							
事業開始年度	私道整備助成 昭和48年度		私道整備 昭和59年度					

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	私道整備助成	51,500	46,700	4,800	労務費・資材費上昇による
2	私道整備	3,500	3,300	200	労務費・資材費上昇による	
細事業合計		55,000	50,000	5,000		

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	本橋 康武	橋本 健太郎	小川名 明代

【実績及び今後見込み】

※市民からの申請に基づき行う事業ですので、5・6年度予算については見込みの数値です。

〔私道整備助成〕

	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
助成件数 (件)	17	13	18	10	10
延長 (m)	686	665	784	469	450
面積 (㎡)	1,886	2,686	2,930	1,568	1,560

〔私道整備〕

	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
整備件数 (件)	3	4	4	2	2
延長 (m)	261	183	384	79	75
面積 (㎡)	878	644	1,792	268	301

〔事業費の内訳〕

	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
負担金 (千円)	65,547	59,870	74,069	46,700	51,500
工事請負費 (千円)	10,748	6,668	20,244	3,300	3,500
合計 (千円)	76,295	66,538	94,313	50,000	55,000

令和6年度 事業計画書

事業局課	道路局	施設課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	3	
歳出予算科目	一般会計	13 款	1 項	3 目	政策番号	31 施策番号	3
事業名称	街路樹管理事業費						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	1,807,096	0	0	321,044	0	1,486,052
令和5年度	1,757,096	0	0	316,299	0	1,440,797
増▲減	50,000	0	0	4,745	0	45,255

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,767,096	1,757,096
	市債＋一般財源	1,443,797	1,443,797
決算	事業費	1,758,648	1,662,241
	市債＋一般財源	1,443,772	1,443,797

令和7年度	令和8年度	令和9年度
1,807,096	1,807,096	1,807,096
1,486,052	1,486,052	1,486,052

事業概要 (アクティビティ)	都市の美観を維持し、樹木の健全な育成を図ると共に、歩行者や車両等が安全で円滑な通行を確保するために必要な維持管理、整備等を行う。								
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
高木本数	単位	目標	131,885	131,250	131,028	130,781	130,485	130,152	129,863
	本	実績	131,599	131,139					
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
植樹帯面積	単位	目標	124.16	123.80	123.65	123.47	123.24	123.00	122.77
	ha	実績	124.16	123.85					
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹維持管理は、街路樹を良好に生育させ、市民に美しく豊かな緑を提供すると共に、歩行者や車両等の安全で円滑な通行を確保し、事故を未然に防止するために剪定や刈込、草刈等を行います。また、現地調査を行い、樹木の位置情報、樹種などの情報をデジタル化し、剪定履歴や診断結果等と関連したデータベースを蓄積、活用することで、維持管理の効率化、安全性や市民サービスの向上を図ります。 改良等工事では街路樹の大径木化、老朽化や歩道の根上がりなどによる道路交通への影響を解消するため、保全や更新を行います。 倒木対策では倒木などの街路樹に起因する事故を予防するため、樹木診断を実施します。 								
背景・課題	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹は、人々に潤いや憩いを与えるほか、防災、都市環境や地球温暖化、ヒートアイランド現象の緩和などに役立っています。 街路樹は、道路付属物のなかで唯一の生物であり、生育に合わせた適切な管理が必要です。 								
根拠法令・方針決裁等	道路法、道路構造令、横浜市街路樹要綱、横浜市街路樹設置基準、横浜市街路樹管理基準								
根拠・データ等	街路樹管理数量集計表（令和5年3月）								
事業スケジュール	春～初夏：中低木刈込、春～秋：除草・草刈、春～秋：病害虫防除、秋～冬：高木剪定、植栽、改良工事(その他適宜実施)								
事業開始年度	昭和52年度								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	街路樹維持管理	1,624,955	1,574,955	50,000
2	改良等工事	60,000	60,000	0	
3	倒木対策	120,883	120,883	0	
4	技術研修	138	138	0	
5	事務費	1,120	1,120	0	

	細事業合計	1,807,096	1,757,096	50,000	
--	-------	-----------	-----------	--------	--

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	藤江 千瑞	本田 昌幸	吉村 慶一

令和6年度 事業計画書

事業局課	道路局	路政課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	4					
歳出予算科目	一般会計	13	款	1	項	3	目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	認定路線管理費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	15,480	0	0	17	0	15,463
令和5年度	13,240	0	0	14	0	13,226
増▲減	2,240	0	0	3	0	2,237

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	11,682	11,571	16,480	15,480	15,480
	市債＋一般財源	11,674	11,563	16,463	15,463	15,463
決算	事業費	10,315	11,185			
	市債＋一般財源	10,307	11,174			

事業概要 (アクティビティ)	道路法に基づき、道路の認定、廃止及び区域の変更を行うための適正な手続き及び認定路線の管理を行います。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
議案参考図作成	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	%	実績	100	100				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
路線データ更新	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	%	実績	100	100				
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 道路の認定・廃止を行うため、議案として市議会に提出する議案参考図を作成します。また、市議会の議決、告示後に認定路線図データの更新作業を行います。 道路の改廃原議など路政課の保有する文書の一部を経年劣化の防止及び文書保管スペースの確保のため、マイクロフィルム撮影を行います。 路線管理・財産管理システムの保守点検と維持管理を行うことで、路線データの管理を適正かつ効率的に行います。 							
背景・課題	<p>路線の認定及び廃止手続は、議会の議決を経なければならないと道路法で定められています。議案の位置を分かりやすくするため、議案参考図を作成します。市議会の議決、告示後に認定路線図等の更新や修正をすることで、市民が最新の認定路線図を閲覧することができます。</p> <p>また、路線管理・財産管理システムは、市民応対、市会議案及び告示データの作成等で使用するため、保守管理と維持管理をする必要があります。</p>							
根拠法令・方針決裁等	道路法、不動産登記法、都市計画法							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 管理路線数 約62,000路線 年度毎改廃件数 令和2年度 認定 39本 廃止 84本 区域変更 273本 令和3年度 認定 38本 廃止 90本 区域変更 253本 令和4年度 認定 36本 廃止 127本 区域変更 220本 							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 議案参考図の作成 (年4回 (5、9、12、2月)) 認定路線図データの更新 (年4回 (6、10、1、3月)) 路線管理・財産管理システム、仮想化プラットフォームサーバの保守管理及び点検 (月1回) 							
事業開始年度								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	委託等事務費		14,483	12,228	2,255
2	路線管理システム及び財産管理システム保守管理費		997	1,012	▲15	実績による事務費の減
細事業合計			15,480	13,240	2,240	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 岡本 栄里	係長 金山 浩將	片岡 祥愛
------------------------------------	-------------	-------------	-------

令和6年度 事業計画書

事業局課	道路局	路政課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	5					
歳出予算科目	一般会計	13	款	1	項	3	目	政策番号	99	施策番号	99
事業名称	公道移管測量助成費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	32,400	0	0	0	0	32,400
令和5年度	36,000	0	0	0	0	36,000
増▲減	▲3,600	0	0	0	0	▲3,600

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	40,000	36,000	55,497	32,400	32,400
	市債＋一般財源	40,000	36,000	55,497	32,400	32,400
決算	事業費	25,649	23,280			
	市債＋一般財源	25,649	23,280			

事業概要 (アクティビティ)	公道移管に必要な測量費等を助成し、公道移管の促進を図ります。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
公道移管測量助成費 助成件数	単位	目標						
	件	実績	13	9				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標						
		実績						
事業目的	公道移管に伴う測量や公図混乱を解消するための費用を助成することにより、市民の負担軽減を図り、公道移管を促進します。							
背景・課題	公道移管には測量などの費用がかかり、公道移管を希望する市民の負担が大きい。							
根拠法令・方針決裁等	①公図混乱地域内私有道路を市道にするための地図訂正に要する測量費用の助成要綱 ②私有道路を市道にするための測量に要する費用の助成要綱							
根拠・データ等	【執行実績】 ①公図混乱地域内測量費助成 平成25年度 26,368千円（1件）、平成26年度 33,416千円（1件） ②公道移管測量費助成 令和2年度 34,718千円（19件）、令和3年度 25,366千円（13件）、令和4年度 23,060千円（9件）							
事業スケジュール	測量費助成までの事務手続きは次のとおり。 事前調査依頼→助成の可否（事前調査回答書に記載）→測量費助成申請→審査→測量費助成金見積審査結果通知→市道移管作業進ちょく状況報告→測量費助成交付申請書→審査→交付決定通知→請求書→支出事務→助成金支出							
事業開始年度	①公図混乱地域内測量費助成 昭和54年度 ②公道移管測量費助成 昭和50年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1 公道移管測量費助成	26,697	26,832	▲135	実績による事務費の減
	2 公図混乱地域内測量費助成	5,703	9,168	▲3,465	過年度実績による減
細事業合計		32,400	36,000	▲3,600	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	岡本 栄里	金山 浩将	片岡 祥愛

令和6年度 事業計画書

事業局課	道路局	施設課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	一般会計	13 款	1 項	3 目	政策番号	28 施策番号 3
事業名称	交通安全対策事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	965,005	0	0	258,518	254,000	452,487
令和5年度	953,548	0	0	300,014	247,000	406,534
増▲減	11,457	0	0	▲41,496	7,000	45,953

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	852,482	839,190	1,142,604	1,142,604	1,142,604
	市債＋一般財源	610,487	557,798	955,560	955,560	955,560
決算	事業費	754,086	797,968			
	市債＋一般財源	525,071	509,323			

事業概要 (アクティビティ)	防護柵、案内標識、道路照明灯、区画線等の交通安全施設の機能を維持するための補修等を行います。交通事故発生件数及び死傷者数の減少を図るため、交通安全対策の総合的な実施計画を策定し、交通安全運動や交通安全教室などの交通ルールやマナーの普及・啓発活動を行い、市民の交通安全意識が高まることにより交通事故抑止を図ります。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標						
		実績						
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
	単位	目標						
		実績						
事業目的	道路法等の関係法令に定められた道路管理者としての責務の履行です。防護柵、案内標識、道路照明灯、区画線等の交通安全施設の補修を行うことで、交通安全施設の機能を維持することができ、利用者に安全な道路空間を提供します。交通事故発生件数・死傷者数の減少に向けて、各世代・対象に合わせた内容の交通安全教育・啓発を効果的に取り組む必要があります。また、季節ごとの交通安全運動や強化月間を関係機関・団体等と連携して実施し、交通ルールやマナーの普及・啓発活動に積極的に取り組みます。							
背景・課題	交通安全施設の累増に加え、高度経済成長期に整備した施設の老朽化が急速に進んでおり、補修を含めた維持管理が必要となっています。令和4年中の交通事故発生状況について、発生件数、負傷者数は前年より減少、死者数は「令和4年度交通安全実施計画」の目標である「年間死者数45人以下」を達成しましたが、前年より増加しています。また、未就学児や児童の歩行中の事故が発生している状況を踏まえ、市民の安全を守るためにも、啓発機会を積極的にとらえて正しい交通ルールやマナー、交通事故の危険性等を伝える必要があります。							
根拠法令・方針決裁等	道路法、交通安全対策基本法、横浜市交通安全対策会議条例							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市管理道路延長：約7,647km(令和5年4月1日現在) スクールゾーン対策協議会要望 横浜市片持式道路標識個別施設計画 交通事故発生件数 横浜市 令和3年：7,883件 令和4年：7,492件 交通事故死者数 横浜市 令和3年：36人 令和4年：38人 子どもの交通事故発生件数 横浜市 令和3年：551件 令和4年：485件 							
事業スケジュール	年度当初に各土木事務所に予算配付をして交通安全施設補修を行います。年度中間時に執行状況、今後の執行予定を確認し、各土木事務所との調整を行い執行管理します。 ・令和5年度：令和5年度横浜市交通安全実施計画策定 ・令和6年度：令和6年度横浜市交通安全実施計画策定 以後、毎年度交通安全実施計画を策定							
事業開始年度								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	交通安全施設等(防護柵、区画線、誘導用ブロック、歩道、交差点改良、その他工種)	702,620	482,535	220,085
2	あんしんカラーベルト	0	208,000	▲208,000	細事業の統合による
3	標識	79,694	90,000	▲10,306	工事費等の減
4	張出歩道	40,000	35,000	5,000	修繕工事の増等
5	エレベータ等更新	45,000	90,000	▲45,000	計画に基づく更新工事
6	補修その他(事務費等)	519	1,414	▲895	委託費等事務費の減

細事業(事業内訳)	7	バリアフリー歩行空間	58,000	10,000	48,000	子育てしやすいまち推進モデル地区、野毛山エリアの増
	8	交通安全啓発事業	18,342	16,969	1,373	実施事業の増
	9	横浜市交通安全協会補助金	20,830	19,630	1,200	実績に伴う増
	細事業合計		965,005	953,548	11,457	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	藤江 千瑞	中島 久智	永濱 和憲

令和6年度 事業計画書

事業局課	道路局	施設課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	一般会計	13 款	1 項	3 目	政策番号	28 施策番号 3
事業名称	子どもの通学路交通安全対策事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	525,000	0	0	0	250,000	275,000
令和5年度	298,344	0	0	0	0	298,344
増▲減	226,656	0	0	0	250,000	▲23,344

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	0	0	525,000	525,000	525,000
	市債＋一般財源	0	0	525,000	525,000	525,500
決算	事業費	0	0			
	市債＋一般財源	0	0			

事業概要 (アクティビティ)	通学路や生活道路においてビッグデータや事故データ等を活用・分析した安全対策を推進します。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
交通安全対策の取組 地区数	単位	目標	0	0	4	20	20	20
	地区	実績	0	0				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
交通安全対策の補修 工事により歩行者等 の安全性が向上	単位	目標	0	0	4	20	20	20
	地区	実績	0	0				
事業目的	①交通事故死者数は減少しているものの、生活道路での交通事故件数では減少幅が小さくなっています。 ②スクールゾーン対策協議会等の要望に対する対策に加えて、ビッグデータや事故データ等を活用し、ハンブや狭さく、あんしんカラーペルトの設置など予防保全的な対策を面的に実施することにより、交通安全対策に取り組みます。							
背景・課題	全国各地で子どもが犠牲となる痛ましい事故が発生し、子どもの交通安全対策は社会問題となっています。 市内での交通事故死者数は減少しているものの、生活道路での交通事故件数の減少幅が小さくなっています。 子ども死亡事故ゼロを目指し、ハード・ソフト面で広く対策を行っていかねばなりません。							
根拠法令・方針決裁等	道路法							
根拠・データ等	・ETC2.0ビッグデータ及び交通事故データ等 ・通学路情報 ・交通規制情報							
事業スケジュール	各地区共通 ・(4月/5月) 委託発注・警察署との調整 ・(6月/7月) 土木・区役所・地元調整(スクールゾーン協議会含む) ・(8月～3月) 工事の実施							
事業開始年度	令和5年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	ビッグデータや事故データ等を活用・分析した交通安全対策		525,000	298,344	226,656
	細事業合計		525,000	298,344	226,656	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 藤江 千瑞	係長 中島 久智	永濱 和憲
------------------------------------	-------------	-------------	-------